

伊豆箱根鉄道アフラック代理店による アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度への寄付について

伊豆箱根鉄道株式会社(所在地:静岡県三島市、代表取締役社長:伍堂 文康)は、2023年11月23日(木・祝)に開催した「いずはこねふれあいフェスタ2023」において、生活事業部保険課のブースで実施したゲームの収入を、代理店業務委託契約を締結しているアフラック生命保険株式会社(所在地:東京都新宿区、社長:古出 真敏)沼津支社を通じて高校生を対象とした奨学金制度に寄付いたします

当社保険課では、2009年から同イベントにブースを出展し、募金活動を継続しており、その結果、募金総額の合計は今回の募金を含め447,316円となりました。

今後も当活動を継続することにより、一人でも多くの小児がん経験者、がんで親を亡くした遺児の助けになればと考えております。

これについて、アフラック沼津支社の藤田秀隆支社長に当社の新宅広樹取締役常務執行役員より募金箱を手渡します。

詳細については下記のとおりです。

記

1. 日 時 12月8日(金) 16時00分
2. 場 所 アフラック生命保険株式会社 沼津支社
静岡県沼津市大手町4-3-45 アゴラ沼津7F
3. 募金内容 11月23日(木・祝)ふれあいフェスタにて、当社の保険課が行なったイベント「ラッキーボール」の全収入 **46,722円**
※当日の入場人員……約7,000名
(1回50円以上の任意の料金を払っていただき、3つのボールを転がして台座にあいた穴にボールを落とした個数により貰える商品が異なるゲームです。)

“アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度”とは？

“アフラック小児がん経験者奨学金”とは、小児がんを経験した高校生や、がんで家庭の主たる生計維持者を亡くし、経済的理由から修学や進学のための機会が狭められている高校生への支援を目的とした奨学金制度です。「がん遺児奨学金基金」として1995年にアフラックとその販売代理店組織が共同で設立した制度に始まり、これまでに3,400名を超える奨学生を支援し、累計の奨学金額は21億円を超えています(2023年6月末時点)。2014年からは、奨学生の対象に小児がんを経験した高校生を加えた「アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度」として「公益財団法人がんの子どもを守る会」が運営を開始しています。当代理店では、この寄付を継続することにより、一人でも多くの小児がん経験者、がんで親を亡くした遺児の助けになればと考えています。

以 上